

うっしっしいー情報2019

10月市



豊岡農業改良普及センター

10月9日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が92万、雌が96万7千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	7	0.899	787,286	4	0.874	993,575	11	862,300
丹波篠山	5	0.967	960,080	1	0.824	883,300	6	947,283
丹波	21	0.902	898,857	13	0.834	893,538	34	896,824
朝来	7	0.975	971,457	4	0.908	982,025	11	975,300
播磨	14	0.925	897,757	9	0.840	941,478	23	914,865
美方郡	68	0.954	921,250	55	0.874	1,037,300	123	973,142
豊岡	20	0.986	927,300	20	0.839	912,340	40	919,820
養父	24	0.954	1,000,404	18	0.815	909,089	42	961,269
摂津・神戸	8	0.873	817,300	8	0.805	890,175	16	853,738
県北C	1	0.875	721,600	-	-	-	1	721,600
市場全体	175	0.944	920,097	132	0.851	967,108	307	940,310

10月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳悠土井	27	0.981	945,959	21	0.887	1,053,748	48	993,117
2	照和土井	17	0.959	941,600	11	0.843	996,400	28	963,129
3	照忠土井	18	0.942	898,761	12	0.843	1,001,642	30	939,913
	総計	159	0.944	916,411	116	0.849	961,637	275	935,488
4	芳山土井	11	0.957	895,100	9	0.849	978,144	20	932,470
5	丸池土井	28	0.931	919,679	14	0.864	940,814	42	926,724
6	丸宮土井	14	0.956	953,857	16	0.774	886,944	30	918,170
7	千代藤土井	12	0.928	936,375	7	0.846	874,343	19	913,521
8	丸春土井	8	0.875	874,638	6	0.820	882,200	14	877,879

間接検定牛は除く 価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳悠土井	A	A	B	B	B	A++
2	照和土井	A++	A++	B	B	A	A+
3	照忠土井	B	A+++ → A++	A	A+	A+++	A+
4	芳山土井	A+	A++	A++	C	A+	A+
5	丸池土井	C	A+	C	B	A+	A++
6	丸宮土井	C	B	A	A++	A+	A++ → A+
7	千代藤土井	A	A+++	D	A+	A++	A++ → A+
8	丸春土井	B → C	B → C	B	B	B	A++ → A+

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和01年8月現在)

その子牛、いつから粗飼料を給与する？

～哺育期の飼育管理④～

前回までは人工乳や母乳、初乳についてお伝えしてきました。今回は、哺乳期の粗飼料給与について考えてみたいと思います。

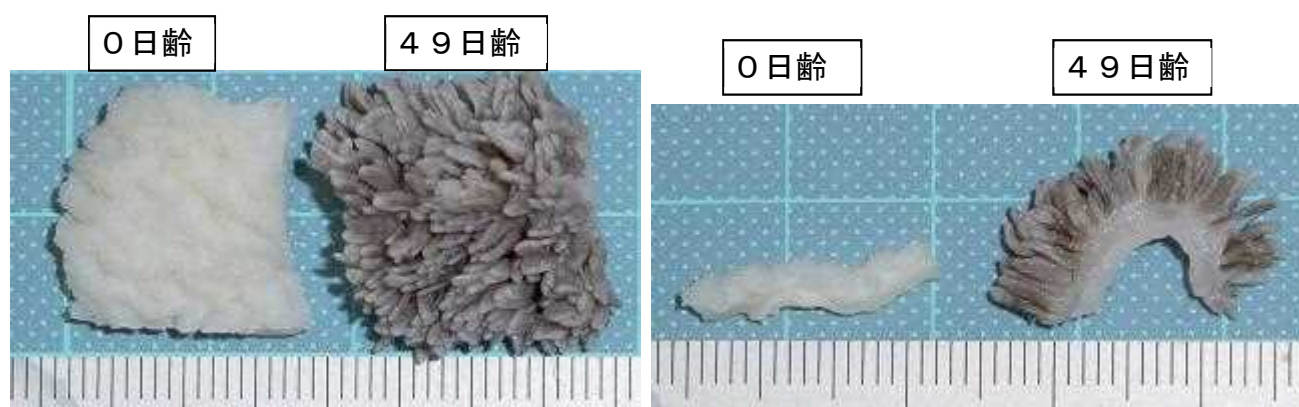
哺育期の粗飼料給与の開始時期は、飼育者の経験等により決めているのが現状です。粗飼料の給与開始の理論上の適期は、粗飼料をどのような飼料として考えて給与するか、つまり、子牛が消化吸収できる栄養的な飼料として考えるのか、胃を大きく育てるための物理性等の機能を考えるかで異なります。哺育期の粗飼料給与に関する試験を行った報告があるので、以下に紹介します。

(1) 哺乳期における粗飼料の役割は？

独立行政法人根釧農業試験場（現、酪農試験場）平成20年度の試験成績で、哺育期における粗飼料の役割が明らかになりました。

ホルスタイン雄子牛30頭を用いて試験が行われ、ミルクとスターターを給与したうえで、乾草給与区と乾草無区、に分けて、6週齢まで飼育しました。乾草無給与区では、第1胃内に飼料片、毛玉や敷料の麦稈の付着が確認され、全頭で何らかの異常が認められました。一方、乾草給与区では、第1胃内容物に付着物や毛玉などが確認されず、全頭で異常は認められませんでした。

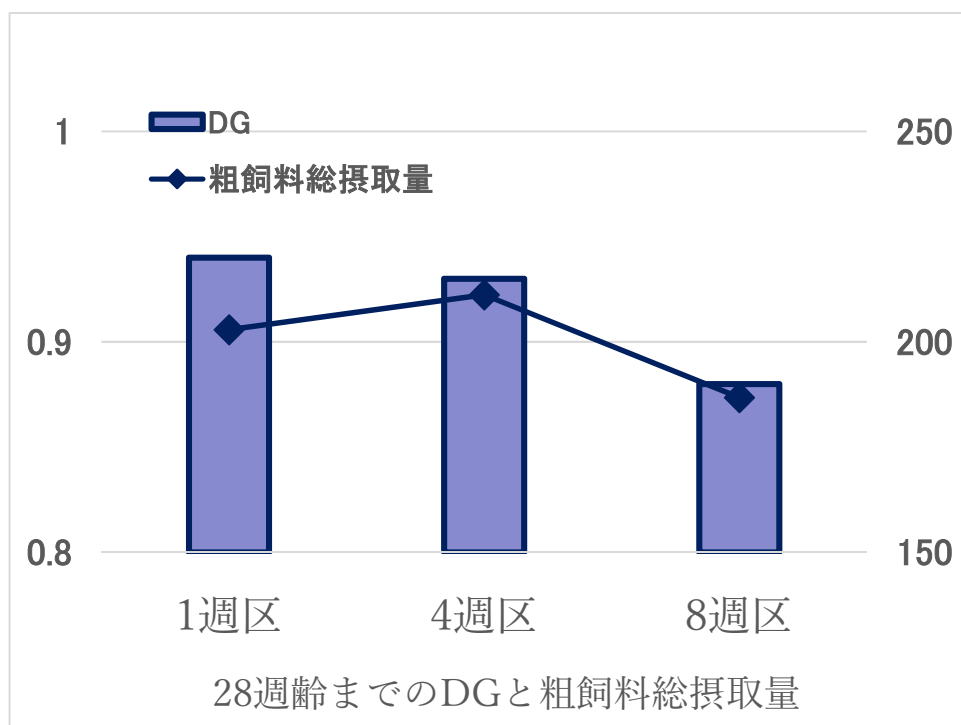
試験結果から、哺育期の早い段階における乾草のような物理性のある粗飼料の給与は、栄養源としてではなく、第1胃絨毛に細かな飼料片の付着を防止する作用（ブラッシング効果）があり、哺育中の早い時期に少量の乾草を給与することが胃の働きの正常化につながると明らかになりました。



写真：スターターと少量の乾草給与で健康に发育した絨毛（北海道立根釧農業試験場）第一胃の絨毛（左写真）第一胃の断面（右写真）

(2) 粗飼料給与の開始時期は？

では、粗飼料はいつ頃から給与すれば良いのでしょうか？平成22年度に北部農業技術センターが但馬牛12頭を用いて、粗飼料開始時期の違いが、その後の发育に与える影響について明らかにしています。試験内容は1週齢、4週齢、8週齢で粗飼料を給与開始した場合の結果です。その後、28週齢時の日齢体重は、1週齢0.94kg/日、4週齢0.93kg/日、8週齢0.88kg/日となり、8週齢がほかの区よりも小さい値を示しました。粗飼料の総摂取量も、1週齢202.9kg、4週齢211.2kg、8週齢186.8kgとなり日齢体重と同じ傾向を示しました。1週齢と4週齢では、ほとんど差がなかったことから、粗飼料給与は4週齢までに始めれば良いといえます。



(3) 乾草給与時の注意

粗飼料を給与しないと、第1胃内のPHが低下し、絨毛が角質化する原因となり、肝膿瘍、全身性の膿瘍、血栓を併発しやすくなります。しかし、スターター摂取による第1胃絨毛の発達是非常重要的なので、粗飼料給与はスターター摂取の妨げにならない程度に留めましょう。また、この時期に給与する粗飼料は、柔らかいものを選び、3～5cm程度に切断して給与しましょう。また、食べ残した乾草は、毎日処分し、新しいものを給与してください。

【哺乳初期の粗飼料給与のポイント】

- 1 給与開始時期は、4週齢までに開始する。
- 2 給与する量は、少量の給与から始める。ブラッシング効果が出る程度に。
- 3 粗飼料の品質は、柔らかい繊維の乾草を選び、3～5cm程度に切断する方がよい。
- 4 子牛は母牛が食べているエサを食べたがる習性があるので、この時期の母牛の粗飼料を子牛用の粗飼料にするのも手段。